

企画運営協議会を再構築する！乞うご期待

朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会は、今後2年間をかけ朝霞市と協働で事業内容を変更します。リサイクルはもちろんのこと、環境全般(温暖化・自然エネルギー・低炭素社会・生態系等など)を調査研究・発信する団体として個性ある活動を推し進めます。

この際、新メンバー・スタッフを募集しています。仕事を持つ方も土曜や休日などをを利用してご自分の得意分野でチャレンジしてください。

新体制は新メンバーを加え、改めて規約や企画などの見直しも実施し、文字通り近隣地域の環境のリーダーとして、全員で作り上げる市民プロジェクトとして成長させたいと考えています。ご参加をお待ちしています。



- 毎週木曜日
 - 祝日(木曜日が祝日とかさなった日は、翌日も休み)
 - 年末年始利用時間
 - 午前9時～午後5時
- 詳しくはリサイクルプラザまでお問い合わせください

朝霞市リサイクルプラザ
朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会

〒351-0033 埼玉県朝霞市大字浜崎664番地の2
☎ 048-486-0222

各講座持ち物

2016年度

固形石けん作り	<ul style="list-style-type: none"> ●開かず洗い乾かした500mlの牛乳パック(必ず牛乳パックのこと) ●マスク ●エプロン ●ゴム手袋 ■サンダル不可 <p>※廃油の持参可 詳細はプラザまでお問い合わせください</p>
サンドブラスト教室	<ul style="list-style-type: none"> ●ご家庭で使わなくなったガラスビン(ふた付) ひとり1個まで
さき織り教室	<ul style="list-style-type: none"> ●綿素材の不用になった衣類・布などを、合計で約1m以上(1～3種類の組み合わせ可) ※切らずに持参。伸縮素材は向き ●昼食の用意(お弁当)
さき織り体験公開講座	なし(材料はこちらで用意します)



サンドブラスト教室

新品のビンやグラスではなく、いらなくなってしまったビン類(ふた付き)にステキな絵柄を彫ってみませんか。お好きな模様を描き、貼り、砂を吹き付けて絵を浮き上がらせ、芸術作品に生まれ変わらせます。あなただけの一品がつくれます。



さき織り教室

着られなくなった想い出の服を裂いて、テーブルセンターなどに織り上げてよみがえらせましょう。たて糸によこ糸、色を変えれば極彩色豊かなオリジナル作品ができあがります。

エコットあさか

ねんかん 年間イベント・講座案内

2016
冬



うもう 羽毛のような
やさしい暖房で
ふゆ 冬の寒さをのりきろう!!



二人仲良くオナガガモ

あさかし 朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会

イベント・講座日程表

※市内在住の18歳以上の方が受講対象です。

すべての講座参加費用は無料です。

ご不明な点はリサイクルプラザまでお問い合わせください。

12月

13日(火)	さき織り体験公開講座 午前11時～午後3時まで 申し込み日 12月2日より 当日も可
21日(水)	サンドブラスト教室 申し込み日 12月2日より

1月

13日(金)	さき織り教室 申し込み日 1月6日より
--------	------------------------

3月

14日(火)	さき織り体験公開講座 午前11時～午後3時まで 申し込み日 3月1日より 当日も可
15日(水)	固形石けん作り 申し込み日 3月1日より

環境大学

2月

1日(水)	環境大学(第1回) 開講式 午前10時～正午まで 申し込み日 1月6日より
8日(水)	環境大学(第2回) 午前10時～正午まで 申し込み日 1月6日より
15日(水)	環境大学(第3回) 午前10時～正午まで 「ワークショップ」 申し込み日 1月6日より
22日(水)	環境大学(第4回) 閉講式 午前9時～午後4時半頃 「フィールドスタディ」 申し込み日 1月6日より



固形石けん作り
サンドブラスト教室は
午前10時～正午まで
さき織り教室は
午前10時～午後3時まで



クリーンセンターアンケート

家庭ごみ減量・分別に関するアンケート

10月7日にヤオコー岡店にて、クリーンセンター主催の家庭ごみ減量・分別に関するアンケートが実施され、協議会から5名が協力しました。

アンケート内容は、性別・居住地・年齢・職業

設問としては

- 食品トレイの処理について
- 生ゴミの捨てる前の処理について
- 使用済み油の捨て方について
- 食品ロスについて
- 期限切れの食品について

の6点でした。

多数の方々が快くアンケートに答えてくださいました。乳児連れの若いお母様方の協力が得られなかったのが残念でした。

リサイクルは、エネルギーや多額の経費がかかるため、まずはごみを減らすためのリデュース(ごみになる物を減らす)とリユース(再利用する)を優先することが重要です。



ヤオコー店頭でアンケートを取る職員とスタッフ



平成28年度スタッフ研修報告

10月18日、茨城県坂東市の(株)岩井化成へ「リユース(くり返して使う)」の現場を学習するために伺いました。(株)岩井化成の仕事は「使用済みプラスチック」から「プラスチック」へと、クリーンセンターで燃やすのではなく、もう一度使うために「再生プラスチック製品」を作るという数少ない会社です。

『なぜ再生するのでしょうか?』それは原料から作るよりCO₂(二酸化炭素)を約30%も減らすことができるからです。これを循環型(じゅんかんがた)リサイクルといいます。たとえば「牛乳瓶のキャップからごみ袋」「レジ袋からごみ袋」などなど、捨てればゴミとして燃やす物を、もう一度生かして使用するための工場です。

10月としては汗の出るほど暑い中、職人さんたちは慣れた手つきでもくもくと働いていました。普段私たちは深く考えず汚れたプラスチックは簡単に捨てますが、洗うことのできるものはきれいにして『資源ごみ』として出しましょう。公園のイスになつたりヒモになつたり、まだまだ使えるのです。



インフレーション成形機



全自動製袋機



会合風景

フリーマーケット

毎年恒例となったフリーマーケットは当初出店計画の22ブースを大きく上回る応募があり、急遽二階フロアも会場として追加され大変賑やかな催しになりました。

断捨離ブームの昨今、若い人に交じり年配の方も沢山参加、再利用してもらうための品物や手作りの作品を所狭しと並べてお客様をお迎えすることとなりました。



2F会場

当日のフリーマーケット参加が初めてという方の購入お客様第一号が私であったことが大変嬉しくお互いに感激しました。私たち協議会のメンバーも使われなくなった浴衣や着物で布草履、バッグなどを作り販売させていただきましたが沢山の方に買っていただき大変感謝しております。

最後にこれからは捨てる前に必要としている人がいないか皆さんも考えてみましょう!



3F会場

*断捨離(だんしゃり)とは:

- 断: 入ってくるいらない物を断つ。(買わない)
- 捨: 今持っている必要なものを捨てる。
- 離: 物欲をなくす。

不要な物を捨て、物への執着を無くし、心をスッキリさせること。

環境大学予告



平成28年度環境大学も2月に開講します。

講師陣も出そろい準備も整いました。地球温暖化がますます進み、

私たちが看過できないような状況におかれています。

この機会に環境全般について一緒に学びましょう。

保育もつきますので、皆様の参加お待ちしております。

平成28年度環境大学 日程(予定)

リサイクルプラザ3F活動室

平成29年2月1日(水) 10:00~12:00

テーマ:『豊かな地球環境を未来に』 開講式
~別の道を歩む勇気を~

講師:小川 真理子氏
レイチェル・カーソン日本協会/関東フォーラム代表

平成29年2月8日(水) 10:00~12:00

テーマ:『再生エネルギーの今!を学ぶ』
~コミュニケーションパワーワーの可能性~

講師:浅倉 孝郎氏 環境省環境カウンセラー

埼玉県環境アドバイザー

平成29年2月15日(水) 10:00~12:00

テーマ:ワークショップ
『持続可能な循環型社会を目指して』
~わが国におけるごみ問題の現状と展望~

講師:松波 淳也氏 法政大学経済学部 教授

平成29年2月22日(水) 9:00~16:30頃

フィールドスタディ 閉講式
研修先:「埼玉県大久保浄水場」「荒川水循環センター」
※大型バスにてプラザ前から出発。(8時50分までに集合)
※昼食後循環センター会議室にて修了式を行います。

*フィールドスタディは終了時間が変更になる場合があります。ご了承ください
※全4回出席の方には修了証が授与されます